

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造
 基本事業 自主的市民文化 芸術活動の育成・支援

事業名 **市民文化ホール管理運営事業**

[0481]

部名	教育部	事業開始年度	平成9年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 市民文化ホール
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 文化・芸術活動の拠点として、施設の維持管理・運営を適切に行い、芸術文化の振興を図るとともに自主的芸術活動の場の提供を行う
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 施設の管理運営を指定管理者に委託する。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	指定管理委託料	千円	63,871	63,964	64,031	51,325
活動指標2						
成果指標1	利用者数	人	45,021	44,402	45,761	44,249
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	63,879	65,037	64,407	51,325
正職員人件費 (B)		千円	2,512	1,672	2,075	2,082
総事業費 (A) + (B)		千円	66,391	66,709	66,482	53,407

費用内訳	
21年度	需用費 347千円、委託料 64,031千円、償還金、利子及び割引料 29千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	平成 4年に市民要望があり、大麻公民館改築と併せて複合施設としての計画を策定、同 7年に着工、9年 10月にオープンした。江別市民の主体的な芸術文化活動の重要な拠点として多様に活用されている。
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は？

市民の文化活動への意欲が年々高まる中で、公益団体組織の運営による弾力的な施設運営を行い、適正な市民サービスを図ることは、行政の役割として妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は？

基礎的事務事業

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は？

通年開館した平成 10年度以降、利用者数は4万人前後で推移している。H 19と比較して利用者は 1%減だが、これ以上大幅な利用増は難しい。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は？

行政が誘導する従来の手法から、市民主体の活動がより積極的にかつ効率的に展開されることが今後も予測される。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由・
 根拠は？

H18から指定管理者制度へ移行し、H21までの4年間の指定管理料はほぼ同額の内容で協定を締結している。